

資料① マンガ商品論

『少年ジャンプ』が300万部に達しようとしており、『少年チャンピオン』『少年マガジン』『なかよし』『りぼん』等も100万部を越している。単行本では、『キャンディキャンディ』が初刷り100万部と聞いてびっくりしていたら、『ドラエモン』はなんと昨年だけで1,400万部だそうである。これもやマンガブームなどではない。マンガ状況とでも言うべきなのであろうか。……一般の趣味雑誌を含めても、マンガ雑誌は上位を独占しており、『少年ジャンプ』は名実ともにヤングに人気のあるNo.1雑誌である。しかし、である。表をご覧ください。表は中・高校生男子の好きなマンガ作品ベスト10である。ここに『少年ジャンプ』の作品はほとんど登場してこない。かろうじて、「私立極道高校」「すすめパイレーツ」が下位にランクされているにすぎない。なぜであろうか。

70年代前半、『少年マガジン』の100万部突破は、「巨人の星」「あしたのジョー」といった二つの人気連載マンガによって達成されたといって過言ではない。……連載マンガのスリリングなストーリー展開が、マンガ雑誌の人気を支えていたわけである。そして今、次週に興味をつなぐそのストーリー展開を捨てることによって、『少年ジャンプ』は300万部に達しようとしているわけである。……

『少年ジャンプ』の人気は、人気のあるストーリーマンガに支えられているものではないのである。『少年ジャンプ』それ自体が一つのマンガ作品となっているということなのだ。

好きなマンガ作品（都内中・高校生男子200名）

作 品 名	200人中	連 載 名
1 ドカベン	23人	(少年チャンピオン)
2 翔んだカップル	10	(少年マガジン)
3 がんばれ元気	9	(少年サンデー)
3 銀河鉄道999	9	(少年キング)
5 ドラえもん	8	(小学館学年誌)
6 あぶさん	7	(ビックコミックオリジナル)
6 私立極道高校	7	(少年ジャンプ)
8 おれは鉄兵	6	(少年マガジン)
8 釣りキチ三平	6	(少年チャンピオン)
8 マカロニほうれん荘	6	()
8 すすすめパイレーツ	6	(少年ジャンプ)

(近藤純夫「マンガの商品論」『青年心理』19号 P91～93 金子書房)